

## 02 令和4年度 教育学部 初任者研修

日時 令和4年9月8日（金）15：00～

対象者 石濱博之教授、有嶋 誠教授、杉田康之講師

場所 1号館小会議室において

説明者 福田亘博教育学部長

1号館小会議室において、令和4年9月8日（金）15時から、福田亘博教育学部長が新任の教員3人を対象に「初任者研修」を行った。

この研修では、教育学部が平成26年度に開学してから現在までの教育方針、研究活動、地域貢献などについて説明し、さらに教員採用試験の合格率の実績や、教育学部が実施している教育改善活動（FD活動）についても説明した上で、新任の教員にはこれらの取り組みへの協力をお願いした。幸いにも、3人の新任教員は積極的に協力する意志を表明した。

その後、教育学部が掲げるアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つのポリシーの策定の背景と具体的な実践について説明した。特に、授業外学修時間の実質化において、3、4年生では目標を達成している一方で、1、2年生は不足していることを強調した。この点について授業外学修時間を増やす取り組みとして予習・復習の徹底を組織的に行うことが説明された。また、平成30年度再課程認定申請において、カリキュラムの新旧の変遷から、時間割表に変更が生じることが説明され、3人の教員の担当科目にも影響する可能性があり、協力をお願いされた。

また、教員相互の新任教員を対象とした授業参観において、幾つかの指摘があったことから、スライドで示し、真摯に受け止め改善するように依頼した。

最後に、現在までの学生の教員採用試験合格率が県内でもトップであることを誇りに思いつつ、1、2年生の授業外学習時間を増やすよう指導すれば、教員採用試験現役合格率の向上が期待できることを述べられた。